

育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No. 184

2017・2・1

新年のあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 結城 眞知子

明けましておめでとうございます。新年の始まりを健やかにお迎えのことと存じます。

いつも、会の活動にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。深く感謝申し上げます。

さて、平成28年の福祉大会の挨拶で、4月に「障害者差別解消法」が施行され、多くの方に周知を図り、この法律をどのように生かし育てていくかが重要で、そのためにも「障害者差別解消支援地域協議会」の設置が必要なことを話しました。この度、川崎市障害者施策審議会の部会として設置されることになりましたことを報告いたします。

これから、始動する地域協議会に向けて、障害があっても地域で安心して暮らしていくためにも差別と感じられるようなことがございましたら、親の会に声を届けてください。

障害者差別の解消につなげていけるように、様々な事例をもとにそれぞれの立場で解決をめざして協議します。

また、当会では、年4回発行の広報紙・ホームページ・フェイスブックなどで会の活動をお知らせしています。それらを通して、少しでも育成会活動に関心をもっていただき、身近に感じていただけたら幸いです。これからも皆さんの思いや願いに寄り添う育成会であるように役員一同努力してまいりますので、今後ともより一層のお力添えをいただきますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、1月14日（土）川崎市民プラザに於いて「平成29年成人を祝う会」が開催され、福田市長をはじめ多くの来賓の方々やご家族と共に成人のお祝いをしました。回を重ねて今年は29回となり、成人参加者も年々増えております。大勢の方々とお祝いできるのは、大変喜ばしいことです。特にご家族の方は、深い愛情で育ててこられ、立派に成人した姿に感慨もひとしおだったと思います。

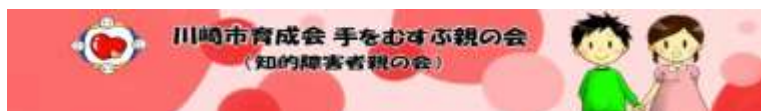
成人者の一人ひとりが、明るく前向きに暮らしていけるような社会になるよう、当会も共に考え、微力ながらお手伝いのできたらと思っています。

新成人を迎えられた皆さまおめでとうございます。自分らしく輝ける未来でありますことをお祈りいたします。



ホームページ

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



平成29年成人を祝う会

平成29年1月14日(土) 川崎市民プラザ

市長祝辞

川崎市長 福田 紀彦



本日ここに新しく成人になられた130名の皆さん、誠におめでとうございます。今日のご家族の皆さんも多数ご出席でございます。心からお慶びを申し上げたいと存じます。そして、実行委員長を始め実行委員の皆さん、施設や学校の先生方、あるいは会社関係の方も多数ご出席をいただいております。これまでも、そして現在も新成人を支えていただいておりますことに改めて心から感謝を申し上げたいと思います。

今、お一人お一人の名前が呼ばれましたが、非常に温かい、卒業式のような雰囲気でありました。何を卒業するかといいますと、「子ども」からの卒業で、いよいよ皆さんは大人の第一歩を踏み出した訳であります。先程、実行委員長からもお話がありましたが、これからはいろいろな権利を得ると同時に、義務や責任というものもともなってもらいますので、ぜひ、それぞれの夢に向かって力強く一歩一歩踏み出していただきたいと思っております。

先程、「カラーズフューチャー」という川崎市の新しいロゴマークの話をしていただきました。もう4年足らずで2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってきます。その時に川崎市は何をするかということで、「パラリンピックを応援しよう」ということにしています。これは、パラリンピックのスポーツ選手だけを応援しようということではなく、このパラリンピックが隣の東京で開催されることによって、私たちの意識も、街の作り方も、私たちの行動も、皆変えていく良いきっかけにしようということで、「川崎パラムーブメント」というものを今始めているところです。これは、障害をお持ちの方のためにやっていることではなく、子ども、大人、性別問わず、ケアを必要とする人もしない人も、あるいは、障害をお持ちの方もない方も、インクルーシブにみんながこの川崎に住んで良かったなど、派手なことをしなくても、じわっとそういう風に思えるような、そんな街をこれから一緒につくっていきたいと思います。それは、行政だけがやる話ではありません。今日集まっている皆さんも、その主役、主体の一人です。ぜひみんなで力を合わせて意識を変え、行動を変え、そして街全体を変えていく、そういったチャレンジをしていきたいと思っております。

昨年、イギリスに石田議長と一緒に行ってきまして、ロンドンオリンピック・パラリンピックをやった時の話を聞いてきました。その話を聞いたら、川崎でももっと一杯やることがあるなどと思って、パラリンピックの委員会の人からも、「あれをやらなくてはいけない、これもやらなくてはいけない」と、いろいろなことを言われました。「これは大変だ」と思いましたらパラリンピックの関係者の皆さんが、「市長、難しく考えちゃだめですよ」と言われました。「何ごとにも『ポジティブチャレンジ』前向きに挑戦していく姿勢、心もちが大事です」と、言われました。

共生社会を作っていくにはまだまだたくさん課題があります。しかし、これは大変だと思わず、みんながポジティブに前向きに挑戦していく、そういった気持ちで皆で取り組んでいくことによって、共生社会は確実に前に進むと私は信じています。

ぜひ、皆さんのこれからの大人としての活躍、社会への参加というものを、それぞれのペースでしていただくことを心から期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。

皆様、誠におめでとうございます。



成人者誓いのことば

小野 美里

本日は成人を迎えた私達の門出に対し、この様な盛大な成人式を催していただき誠にありがとうございます。私は 川崎市立中央支援学校分教室第二期卒業生、小野美里と申します。

私は卒業後、デパート等の持ち帰り惣菜店アール・エフワンで知られている会社、ロック・フィールドで勤務しています。パートさんはとっても優しく、休憩の時は話をして楽しいです。毎日とても忙しく、時には大変な時もありますが、自分の作った商品がお客様に届くと思うと頑張れます。

振り返れば私が中央支援学校に入学したのは2013年4月のことです。入学当時は友達とどう接していいのかわからず、タメ口で話をしていたことをよく先生に注意されました。その時は「どうしてタメ口だけで注意されないといけないのか」と不満に思いましたが、今、社会に出てみるとなぜ注意されたのかよくわかります。

学校で教えてもらった、自分の行動に責任を持ち、常に向上心を持ってする様にとの教えを心に留めて頑張っています。

これからの夢は、まずはしっかりと仕事をしていくことと、自分の生活に余裕が持てたら、結婚をしたいと思います。それまでにはお金を貯めて、素敵な人と付き合っ、それから結婚をしたいと思います。そして幸せな家庭を築き、一人前の母親であり、女性になれるように頑張りたいと思います。

私がこうして成人式を迎えられるのは、支えてくださった両親や家族、導いてくださった先生方や、共に歩んだ仲間達のおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、力強く、優しく、たくましく生きていくことを誓って新成人代表のあいさつとさせていただきます。



塩寺 菜津美

私は川崎市立聾学校を卒業して今は、神奈川工科大学・情報ネットワークコミュニケーション学科に通う大学2年生です。鳥人間コンテストに毎年参加している大学で有名なので、ご存知の方も多いかと思います。最近ではテレビドラマの撮影現場にも使われています。

私は、この大学で4年間学んでいく中で、将来、私と同じ聴覚に障害をもつ人たちに少しでも役に立つアプリケーションが作れたら良いなあ…と思っています。就職も、そのような関係の企業に就くことが、今の私の目標です。

プライベートでは、イトーヨーカドーと、マクドナルドでアルバイトをしています。アルバイトをする中で、社会の仕組みや、お金を稼ぐ大変さ、健聴者との関わり方などを学んでいます。高校時代からの趣味であるコスプレ仲間に出会うために、一人で池袋や横浜…たまには、大阪や愛知の名古屋などにも行ったりしています。ちなみに友達には健聴者ばかりで、ちょっとコミュニケーションがとりにくいですが、頑張っています。

昨年8月に二十歳になり、大人としての自覚も少しずつですが、ついてきたと思っています。これまでにお世話になった、聾学校の先生方や友人たちに感謝しつつ、これから出会う、全ての方々に感謝のできる自分でいたいと思います。また、塩寺さんが居て良かった、菜津美が居て良かった…と思ってくれ感謝される自分になりたいと思います。

皆さん方も、日頃から、お父さん・お母さんをはじめ、人や物や環境に、感謝の気持ちを忘れずに、これからの人生を過ごしていただきたいと思います。

本日は、私たちのために、多くの方々にお祝いいただき、成人を代表し心から感謝申し上げます。



平成28年度 川崎市障害者週間記念のつどい

平成28年度「川崎市障害者週間記念のつどい」が、12月4日(日)川崎市国際交流センター1階ホールで開催されました。このつどいは、1981年の国際障害者年から障害福祉の普及、啓発の理念の下開催されています。



第1部 式典

心の輪を広げる体験作文・ポスターの優秀者表彰と市民の福祉功労者の表彰がありました。川崎市育成会手をむすぶ親の会からも、宮前支部の代表で会の三役も務める梅田順子さんが「心身障害児(者)福祉功労者」として表彰されました。おめでとうございます。

(吉野 明美)

第2部 記念講演会 「わたしたちが活かそう解消法 みんなでつくろう平等社会」



講師の野村茂樹氏は、大学在学中に視神経萎縮により障害等級二級となり、テレビ式拡大読書器の使用、試験時間の延長という合理的配慮のもと、視覚障害者として日本で初めて司法試験に合格しました。現在弁護士として活躍しておられます。

平成28年4月1日より改正障害者雇用促進法、障害者差別解消法が施行されています。対象となるのは、障害者手帳所持者に限らず、内部障害、難病、高次脳機能障害なども含まれます。この法律によって、不当な差別的取扱いが禁じられ、合理的配慮の提供が求められるそうです。義務を負うものは、行政機関等と事業者です。相談窓口が設けられている点が大切な点ですし、自治体によっては上乗せ条例が定められているところもあります。

しかし、何が差別にあたるのか、また、合理的配慮とは何か、まだよくわからないというのが実感でしたが、野村氏が具体的な例を挙げて説明してくださり、少し身近に感じる事ができました。いろいろな立場の人が、お互いに理解し合い、どうしたら良いのだろうかと考えることが、皆が過ごしやすい社会につながるのではないかと思います。

(高山 君子)

障害者団体部会「障害者週間」キャンペーンFMラジオ生出演

会長 結城 眞知子



11月25日(金)に「障害者週間」のアピールと障害者への理解促進の啓発活動のためにかわさきFMラジオに生出演しました。初めてのラジオ出演は、リハーサルなしでの進行で、すごく緊張しました。

「障害者週間」の意義①皆さんに広く障害者福祉についての関心を深めてもらうこと②障害者が社会、経済、文化、その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることなどを話しました。

また、障害者団体部会では、JR南武線の川崎駅と武蔵溝ノ口駅の2か所でチラシ入りのティッシュペーパーを配布することにもふれました。

知的障害の息子の母としての思いなども話ができ、緊張しましたが私にとって貴重な経験でした。



障害基礎年金申請前に知っておくこと

～ 手帳があれば年金を受給できると思っていませんか?～

副会長 美和 とよみ



11月17日(木)特別支援学校・養護学校の方々に親の会のことを知っていただく活動の一環として、麻生養護学校・高津養護学校・中央支援学校の高等部の方にお知らせを配布し勉強会を行いました。予想をはるかに超える38名の参加で、スーツ姿の男性の参加もあり、関心の高さが伺われました。資料の準備が間に合わず参加の方々にはご迷惑をおかけしましたが、担当者にとっては、嬉しい悲鳴でした。

たかつ基幹相談支援センターの栗野さんから申請の仕方を、会員の西澤さんと磯さんには、ご自身が申請した時の体験を話していただきました。参加者からの質問も多く、実際の申請書や医師の意見書のコピーは関心をもって読んでいただきました。

顔を見合わせてゆっくりお話しできなかったことは残念ですが、子ども達の将来を支える年金について、先輩の知恵を話せたかなと思います。これからも学習会や、意見交換の場を設けて皆さんと交流して行こうと思います。

第3回ふれあいバザールみぞのくち

11月25日(金)JR武蔵溝ノ口駅の南北自由通路にて「第3回ふれあいバザールみぞのくち」が開催されました。多くの施設の色とりどり、多種・多様に並べられた品々はどれも大変よくできていてクオリティの高さに驚いてしまいました。

売り子さんの中に息子の同級生を見つけ、久しぶりに再会できたことがとても嬉しく思いました。可愛いミニレターセットを一つ購入したのですが、作者のサインを見てかつて仕事で関わった方の作品であることを知り、こちらも嬉しい驚きでした。

長年、障害者の作品販売に出かけていますが年々、品物が良くなっているように思いました。次回開催が今から楽しみです。(神田 明子)



平成28年度「川崎市障害者作品展」

副会長 美和 とよみ



12月21日(水)～12月25日(日)までアートガーデンかわさき第1展示室で開催されました。

今回は、知的障害・発達障害を含むすべての障害者を対象に作品を募集し、展示室での開催となりました。募集よりも少ない展示になりましたが、「いろいろな障害のある方の作品が一同に並ぶのは感慨深い」と以前から担当していた方が話してくれました。

観覧者からは、「色使いが素晴らしい」「頑張ろうという気持ちになった」や「何度見ても飽きない」との感想も頂きました。

初めての試みということもあり、作品の募集の仕方や広報の仕方など課題もたくさんありました。次回はもっと多くの作品を展示したいし、会員の方々の作品も展示できればと思います。今から作品の準備をはじめ、ぜひ応募して下さい。

第3回「あんしんノート」書き方講習会報告

権利擁護委員会 森 由里



11月28日(月)、今年度3回目の「あんしんノート」書き方講習会を開催いたしました。今回は、22名の参加で初めての方も多数ご出席いただきました。書き方講習会では、記入のポイントをお話しし、初めての方にはまず、エコマップ、基本情報から記入を初め、気負わずにあんしんノートを作り、ご本人の状況に併せて情報の更新を続けていくことの必要性をお伝えしました。いろいろなところに散漫になりがちな情報を

まとめて綴っておくファイルとして生かせる「あんしんノート」を作っていくことの大切さを長年取り組んでこられた方からアドバイスとしてお話いただきました。

座談会では、～グループホームで生活したらどのくらいかかるの?～というテーマで、今泉修一氏(グループホームいずみ管理者)に事前に質問をお送りした回答を資料として配布し、グループホームでの日常生活の様子のスライドと併せていろいろな疑問に答えていただきました。限られた時間でしたが、グループホームについてのいろいろな情報を得ることのできた座談会となりました。

委員会紹介

研修事業推進委員会 (12月12日)

2月17日(金)に開催される研修会の役割分担などについて話し合いました。今回は会場が武蔵小杉なので、受付などはできるだけ近くの方に早く来てもらうように分担しました。後半は、「平成30年関東甲信越大会・川崎大会」について話し合いました。



余暇活動委員会 (12月8日)



今回は旅行会社三社から、3月5日(日)・6日(月)のバス旅行のプレゼンをうけ、行程に無理はないか楽しんでいただけるかなどを話し合い決定しました。

少人数ですが、海水訓練・緑陰訓練など会員の皆さんの喜ぶ姿を想像しながら、和気あいあいと活動しています。

権利擁護委員会 (12月19日)

平成25年度に新しく設立された委員会です。「あんしんノート」書き方講習会を軸として、障害のある人の身近な課題に取り組んでいけるよう頑張っています。



平成30年関東甲信越大会・川崎大会のお知らせ

大会の開催日と会場が決まりました。

開催日 平成30年9月14日(金)

会場 ミューザ川崎シンフォニーホール



～グループホームで生活したらどのくらいかかるの？～ Q&A

講師：今泉 修一 氏（NPO法人チャレンジドサポートプロジェクト 副理事長）

Q. グループホームの見学や体験はできますか？

A. グループホームいずみでは、希望に応じて、日中、利用者がいない時間に見学を行っています。個室の見学は、利用者の同意を得て、案内する世話人が勤務している時間帯のみ行っています。



体験は、空室がある場合のみ受け付けています。体験といっても、本人が理解したうえで利用となります。ショートステイ的な緊急時における体験利用はありません。

Q. グループホームでの1日の生活は、どのようなものですか？

A. 基本的に「生活の場」ですので、家庭にいるときと変わらないと思います。様々な方が利用していますので、「他の利用者に迷惑をかけないようにしよう」を原則に、生活のリズムが崩れない支援を目指していますが、食事や入浴、ホームに帰る時間などは、なるべく制限することのないようにしています。

Q. 主に、家賃、光熱費、食費などが必要経費かと思いますが、平均でどのくらいかかりますか？また、川崎市から家賃補助が出るとのことですが、どのくらいですか？

A. グループホームいずみでは初期費用は必要ありません。最低限、障害基礎年金でホームに入れるような費用設定になっています。具体的には、国と市の家賃補助 37,000 円を除くと 60,000 円前後になります。60,000 円の内訳は、本人負担の家賃が 18,000 円（本人の収入額や生活保護の受給の有無によって異なります。）食事が朝夕 2 食で 22,000 円、光熱水費 15,000 円、その他共用品費で 5,000 円です。



グループホームいずみの建物は賃貸ですので、この賃貸料により家賃負担も異なります。

ただ、入居に際し、布団やベッド、身の回り品を個々に購入する方がほとんどですので、そういう意味での初期費用はあります。

Q. 土曜日、日曜に、休日は、どのように過ごされていますか？

A. 利用者の職業によって必ずしも土日が休みではありませんので、それぞれです。月数回外出ヘルパーを利用している方が多いです。もちろん、帰宅される方もいます。就労している方は、自分なりに過ごしているといったところでしょうか。今どきの若い人たちの行動と同様に、休みの日は一日寝ている方もいます。

※このQ&Aは、第3回あんしんノート書き方講習会のために、事前に権利擁護委員会より質問を提出し、回答をいただいた中から抜粋したものです。

また、ここに示した事例は、「グループホームいずみ」における回答です。必ずしも他のグループホームにあてはまるとは限りません。

川崎市育成会・やまゆりとの共催研修会

日時：2月17日（金） 10時10分～12時

場所：ユニオンビル2Fセミナールーム

テーマ：『親亡き後も知的障害者が安心して暮らすためのお金について』

～知的障害のあるわが子に必要なお金とは～

講師：又村 あおい 氏（全国手をつなぐ育成会「手をつなぐ」編集委員）



支部通信

川崎三支部合同 施設見学

大師支部 小西 真弓



10月20日(木)に「かわさき障害者福祉施設 たじま」を21名の参加で見学をしました。ここは川崎区の障がい支援の活動拠点、地域住民の活動の場としての施設で、行事に利用者の方が参加し、地域住民の方々との交流をはかっているそうです。施設内の「たじま 家庭支援センター」が、地域包括ケアシステムの一躍を担っているのので、幅広い支援が出来るというお話を聞き、施設内の見学となりました。

建物内は大きな窓から光が差し込み、廊下に椅子やテーブルなどが置かれ、お話を楽しんだり、休憩したりできます。2階の食堂は、吹き抜けで3階からも、利用者さんへの見守りができるようになっていました。見学時は、利用者さんの活動時間だったので、あちこちから、楽しそうな声が響いていました。

帰りにお隣の田島支援学校内にある「あんてろーぷ」でランチをしてから、パンを購入しました。

中原支部 施設見学

中原支部 吉野 明美

11月10日(木)障害福祉拠点施設「まじわーる宮前」の見学をしました。「まじわーる」という名称のとおり馬絹の交差点の交わる場所に、障害のある人もない人も共に理解を深め「まじわる」場となることを目指しているそうです。

行政サービスや市民活動の場として活用できる地区会館が併設されていました。生活介護事業や短期入所は、明るく清潔感いっぱいの建物でゆったりと活動していました。このような拠点施設が中原区にもできて欲しいと思いました。



川崎三支部 「福祉まつり」に参加して

田島支部 安達 ゆかり



11月26日(土)川崎市教育文化会館にて、川崎区社会福祉協議会の主催で「福祉まつり」が開催されました。川崎三支部では、1階かわさきマルシェにて、福祉施設での手作り品のご紹介や親の会の活動を知っていただくため参加しました。会場内は、スタンプラリーや大ホールでのイベントがあり、たくさんの人たちが来場していました。会員の方々も、立ち寄って、声をかけてくださいました。手作り品の評判は、上々で、作り方などを聞いて下さる方もいて、楽しい時間を過ごせました。

「障がい」を理解してもらえる機会になったと思います。

おしゃべり多摩報告

多摩支部 神田 明子

12月2日(金)福祉パルたまで行われました。地域包括ケアシステム多摩区での取り組み、他都市の育成会の研修会の報告などがありました。今回、2月に放課後等デイサービスを立ち上げるという方が参加されていて、発達障害の幼児・学齢児の親御さんの話を聞くことができました。参加されている方々は、子どもさんが成人している親御さんが多く、いつもは親亡き後や成年後見人等の話を中心なのですが、この日はわが子のかつての兄弟児問題、学校の問題などをみんなで話し、わが子はこうだった、こんなときはこうしたという話題に花が咲き、楽しいひと時をすごせました。



田島支援学校 学習発表会

田島支援学校支部 島田 加奈子



10月22日(土)桜校にて、小中学部、11月3日(土)本校にて、高等部の学習発表会が行われました。

子ども達の一生懸命なパフォーマンスに保護者から大きな拍手が送られ、子ども達の確かな成長を実感する場となりました。中3は「ブロックまつり」。巨大ブロックで文字を表現し、中1中2の時に発表した内容を振り返り、更に中3としての発表をする趣向。会場は感動

の拍手に包まれました。高等部では見事な旬のダンスパフォーマンスが圧巻でした。現役と卒業生の母のボランティア「本の会」が「腹ペコあおむし」の操演。あおむしの手作り人形や、仕掛けを、音楽やリズムに合わせて、子ども達の沢山の笑顔と手拍子で盛り上がりました。

中央支援まつり

中央支援学校支部 宮脇 真理子

11月26日(土)中央支援まつりが行われました。東高津中学校吹奏楽部による交流コンサートを楽しんだ後は、模擬店で焼きそばや豚汁などを購入。クラスみんなでおいしくいただきました。体育館ではフリーマーケットと26団体の福祉施設の販売があり、それぞれお小遣いを持ってお買い物を楽しみました。ゲームコーナーでは高津高校や大学生のボランティアさんと、まと当てやボウリング、さかなつりなど一緒に盛り上がりました。分教室の生徒によるお茶席や喫茶室も大好評！高津高校軽音楽部によるミニコンサートもおこなわれました。卒業生や地域の方も大勢ご来校になり、多くの方々に支えられていることを感じる一日でした。



高津支部・高津区役所 共催研修会

『 知って備えよう！知的障害のある人の防災 』

～自分でできること、家族でできること、そして、地域でできること～

高津支部 森 由里



11月10日(木)研修会を高津区役所会議室で行いました。42名の方々にご出席いただきました。

まず、今泉修一氏(川崎防災ボランティアネットワーク所属)より、災害時の知的障害児者の支援について、東日本や熊本などの被災地でのボランティアの経験を踏まえてお話いただきました。「障害のある子ども達を守る為に、まず、お父さんお母さんがご自分の

身を守ってください！」と、かけて頂いた言葉が印象的でした。


次に、高津区役所危機管理担当の並木課長からは、高津区の防災への取り組みについてお話し頂きました。いろいろ対策がされてはいても、どのような形で起こるかかわからない災害へのそれぞれの事前の備えの重要性を再確認しました。

そして質問の時間で、地域で日々活動されている町会役員や民生委員の方々より、「実際に知的障害のある方に、どうサポートしたらよいのだろう？」と考えて頂いていることや、『要援護者名簿』をどう生かすか検討しつつも、扱いは地域によって違いが大きくあり、個人情報保護の観点からも難しいことになっている現状も伺うことができたことはとても貴重でした。研修会を通じて、自分や家族でできることはしっかり備え、地域にお願いしなければならない支援は声をあげて伝えていくことの必要性を強く感じました。



平成29年 成人を祝う会に出席いただいたご来賓の方々 (順不同・敬称を略させていただきます)

川崎市長福田紀彦、川崎市議会議長石田康博、(福)川崎市社会福祉協議会会長佐藤忠次、川崎市議会議員松原成文、同・花輪孝一、同・堀添健、同・石田和子、(公財)川崎市身体障害者協会理事長中込義昌、(特非)川崎市精神保健福祉家族会連合会あやめ会副理事長清水信、(特非)川崎市障害福祉施設事業協会理事長星栄、信明商事(株)清掃課長田中誠一、富士通ハーモニー(株)常務取締役萩原武行、同・総括指導員増田英二、(福)三神会特別養護老人ホームフレンド神木事務主任杉本剛、川崎区長土方慎也、幸区長上野葉子、中原区長鈴木賢二、高津区長山田祥司、宮前区長代理、多摩区長中村孝也、麻生区長北沢仁美、健康福祉局長成田哲夫、同・障害保健福祉部長宮脇護、田島福祉事務所長岩佐弘司、教育委員会教育長渡邊直美、教育委員会事務局生涯学習部長金子浩美、同・指導課担当課長増田亨、市立小学校特別支援教育研究会会長中西伸夫、市立中学校特別支援教育研究部会会長代理、教職員組合執行委員長門倉慎児、総合教育センター高木正之助、市立田島支援学校PTA会長大塚恭子、市立豊学校PTA副会長天野博美、県立中原養護学校PTA会長佐竹ひろみ、県立高津養護学校PTA会長田中雅美、(福)ともかわさき理事長小田島隆敏、たちばな施設長市田直美、ちとせ施設長御原恵子、(福)川崎市社会福祉事業団理事長長谷川忠司、作業室飛行船施設長貞岡拓也、ふじみ園施設長丸山尚、KFJ多摩はなみずき施設長長谷川裕之、同・はなも施設長日野修子、くりの丘施設長日崎和枝、(福)育桜福祉会理事長代理、ゆずりは園施設長国貞敦士、白楊園施設長市川高弘、しらかし園施設長住舎康子、小向このはな施設長藤野真一、わーくす高津所長北山公司、(福)セイワ理事長代理・川崎授産学園園長石井和明、障害者支援施設もえぎの丘平山雅之、(福)長尾福祉会理事長荒川佳紀、(福)みのり会理事長代理・あーる工房施設長大坪明日香、ダンウエイ(株)代表取締役高橋陽子




ともしびの社会かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日に、神奈川県が策定しました。

寄付	(順不同・敬称略)	
一般社団法人 川崎市弘済会		100,000 円
賛助会費		
吉野 謙二	中原区市ノ坪	5,000 円
結城 隆	川崎区藤崎	20,000 円
近藤 泰光	川崎区川中島	5,000 円
山田 壮一	高津区末長	10,000 円
梅田 俊彦	宮前区初山	5,000 円
※1,000 円以上の方を記載しています。		



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《平成28年10月21日～平成29年1月19日まで》

＜各種会議、行事＞

11月11日(金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
17日(木)	茶話会・障害基礎年金申請の前に知っておくこと	地域福祉施設「ちどり」
22日(火)	第7回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
28日(月)	あんしんノート書き方講習会	地域福祉施設「ちどり」
29日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
12月8日(木)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
8日(木)	川崎市弘済会からの寄付受領	てくのかわさき
9日(金)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
12日(月)	第5回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
19日(月)	第4回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
20日(火)	第8回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
1月12日(木)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
19日(木)	第9回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

＜対外行事＞

10月21日(金)	溝ノ口駅周辺地区バリアフリーまち歩き部会	溝ノ口駅周辺
31日(月)	社会福祉協議会・評議委員会	エポックなかはら
11月8日(火)	社会福祉協議会・障害者団体部会	エポックなかはら
10日(木)	第2回成人を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
14日(月)	福祉有償運送運営協議会	ソリッドスクエア
25日(金)	第3回ふれあいバザールみぞのくち	溝ノ口駅南北自由通路
25日(金)	障害者施策審議会	ソリッドスクエア
12月1日(木)	関東ブロック会議・代表者会議	松戸市森のホール 21
3日(土)	「障害者週間」街頭キャンペーン	川崎駅・武蔵溝ノ口駅
4日(日)	川崎市障害者週間のつどい	国際交流センター
5日(月)	第3回成人を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
13日(火)	ともかわさき評議員会	地域福祉施設「ちどり」
14日(水)	ともかわさき理事会	地域福祉施設「ちどり」
1月6日(金)	第4回(拡大)成人を祝う会実行委員会	川崎市民プラザ
14日(土)	平成29年成人を祝う会	川崎市民プラザ

2016年度版 **生活サポート総合補償制度**

知的障害児者・自閉症児者のための AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・竊火・津波危険補償特約セット)

被保険者 (補償の対象者) 知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。	補償期間 (保険のご契約期間) 2016年4月1日から1年間	掛金 入院2日目から補償プランB/ 掛金… 23,000円 (保険料19,810円) 入院4日目から補償プランA/ 掛金… 17,000円 (保険料14,810円)
--	--	--

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

● 担当代理店 株式会社 ジェイアイシー 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)	● 引受保険会社 AIU損害保険株式会社 東京第二支店 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階 TEL: 03-6894-9110 http://www.aiu.co.jp 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)
--	---

ご加入のお問合せはこちら

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
 〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区冨原4-2
 神奈川福祉会福祉会館内
 TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
 受付時間: 午前9時～午後5時
 (土・日・祝日・年末年始を除く)

(A-000628 2018-03)

※平成28年12月現在8,564名の加入がありました。毎月1日付で加入できます。よろしくお願いたします。

